

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	遊園地（職員）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の流行によって、新規感染者数が増加傾向にあり、1月にまん延防止等重点措置が適用されたこともあり、外出控えが加速し、現在は集客が減少している。
	◎	その他サービス [葬祭業]（経営者）	お客様の様子	・今月は仏壇の処分やお骨の永代供養墓への依頼が多い。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者が増えることで、食品需要が高まっていく。
	□	スーパー（経営者）	来客数の動き	・正月2日までは競合店も休みが多く、好調であった。中旬は前年豪雪の上振れによる反動減があったため、月間で見れば前年並みとなっている。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来店する人数は減っているが、買上点数が多くなっているので、売上の伸びはそれほど変わりはしない。
	□	コンビニ（店長）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、今月中旬辺りから客の様子が変わってきている。前回の感染拡大時にもあったが、売上のピーク時間帯が大分変わってきている。全体的には経営は難しい状況にある。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年は大雪のため来客数が減少していたが、今年も同様の推移となっている。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・新車の供給不足が深刻で、販売台数が伸びない。受注残はたまっているものの、キャンセルの懸念がある。
	□	乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・1月中旬までは、車検や一般整備の入庫も多く、低価格帯ではあるものの、中古車の売行きも良かった。しかし、その後、新型コロナウイルスの感染が急拡大し、客足が鈍る傾向に転じてしまっている。
	□	スナック（経営者）	お客様の様子	・客の様子と回答したが、新型コロナウイルスのせいなのか、客が動いている様子がない。本当に困っている。
	□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・高齢者の単身世帯で保留や解約が増加しつつある。
	□	通信会社（社員）	販売量の動き	・サービスによって契約数の増減がはっきりしている。新型コロナウイルスの影響かどうかは不明だが、客が必要最低限のコストで抑えたいということだと思われる。
	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・1月は毎年、新学期の関係で年が明ければかなり動いたが、正月明けから新型コロナウイルスの感染が急拡大し、スポーツ用品店なので関係ないと思っていたが、客が本当に出なくなって街が閑散としてしまい、いろいろと影響が出ている。
	▲	一般小売店 [家電]（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大により、人の動きと共に商材の動きも鈍くなっている。消費意欲をそそる商材もないため、厳しい状況は続いている。
	▲	一般小売店 [家電]（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株が落ち着くまでは、客の動きが非常に悪いと感じている。
	▲	スーパー（経営者）	来客数の動き	・前年比で売上は11%減、来客数は8%減となっている。新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、高校や大学も休校、分散登校となっており、来客数は減少している。1月27日から2月20日まで、まん延防止等重点措置が適用され、飲食店の営業時間は夜9時までだが、補償も出る。周辺のイベントが再びなくなり、当店はかなり厳しい。従業員の勤務日を週6日から3日に減らして1日2名体制にし、更に数名の勤務時間を減らしてもらい、何とか経営を続けていきたい。
▲	コンビニ（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で来客数が減っている。また、寒さの影響もあって、販売の動きが非常に悪い。	
▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置適用のためか、来客数が減少している。ただし、客単価は上昇している。	
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの再流行に伴う、来客数減少でやや悪くなっている。	
▲	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・人が出てこない。	

▲	自動車備品販売店（従業員）	お客様の様子	・新型コロナウイルス新規感染者数が再び増加していることに伴い、外出や遠出を控える傾向にあり、来客数が減ってきている。
▲	都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、急激に落ち込んでいる。年末くらいから悪くなってきていたが、感染の急拡大やまん延防止等重点措置の適用により、ほとんどの電話がキャンセル連絡になり、先の予約での連絡はほぼない。フリー客もほとんどなく、まだ回復途中だった3か月前よりも悪くなり始めている。
▲	旅行代理店（副支店長）	お客様の様子	・客の動きが活発になり、旅行需要も増加していたが、新型コロナウイルスの感染急拡大により、客足が止まってしまっている。加えて、燃料価格の高騰や物価上昇もあり、消費意欲が薄れている。人流を止めることにより消費も抑えられている。
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・新型コロナウイルスが、また、まん延してきている。1月10日以降、段々と悪くなっている。
▲	観光名所（職員）	販売量の動き	・県独自の新型コロナウイルス警戒レベルが最高に達したため、飲食店は休業が目立っている。年末年始はにぎわっていた隣のスキー場や宿泊施設も、その後、クラスターが発生して、たちまち感染が広まってしまっている。
▲	ゴルフ場（経営者）	それ以外	・当ゴルフ場は冬季クローズ期間中だが、新型コロナウイルスオミクロン株のまん延で、街の飲食、宿泊、観光業からはため息が聞こえてくる。
▲	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・建設資材の値上がりによって建設コストが上昇し、計画が先送りや中止となっている。
▲	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・新規の依頼は減っており、計画物件も少ない。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・やっと落ち着いたと思った新型コロナウイルスだが、再び感染者数が増加して、客足が途絶えてしまい、開店休業状態が続く。よほどのことがない限り、来客はない。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・年始の出だしは良かったものの、成人の日の3連休以降、新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大とともに、来客者が激減している。さらに、まん延防止等重点措置の適用以降は、開店休業状態である。
×	その他専門店〔酒〕（店長）	販売量の動き	・緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置の適用はされていないが、すぐ近くで、新型コロナウイルスの感染の話聞くようになり、我々も、本当に紙一重のところにあると思っている。客も飲食店もだが、非常に厳しい状況に入ってきている。
×	高級レストラン（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染急拡大による予約キャンセルや客足の減少と、まん延防止等重点措置も始まり、先の見えない不景気になっている。
×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・ついに当県も、まん延防止等重点措置の対象県となり、一層客足が止まっている。
×	スナック（経営者）	来客数の動き	・10～11月はかなり上向いていた。12月から落ち込み始めて、忘年会も全然入らず、今がどん底である。時短の協力金を出してもらってれば生きてはいけるが、先の見通しが立たないのが辛い。
×	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・12月までは新型コロナウイルスの影響で、団体は動かなかったが、家族や夫婦で旅行する客がいて、例年の7割ぐらいにまで回復していた。しかし、1月に新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大が発生し、当県にもまん延防止等重点措置が適用され、とうとう個人の客も週末だけ、しかも数組のわずかな人数になってしまっている。
×	都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の拡大により、1月の3連休が終わった後の1週間で、1～3月の新年会、歓送迎会、謝恩会等、70件の宴会キャンセルが出ている。金額にすると6000万円が吹っ飛んでいる。

	×	その他レジャー施設 [ボウリング場] (経営者)	来客数の動き	・ 今月前半は正月休みで、新型コロナウイルスの感染状況も落ち着いていたこともあり、好調に推移していた。中旬から下旬にかけては、今までとは比較にならない感染状況に陥り、当県はまん延防止等重点措置の対象地域にはなっていないが、次々と対象地域が広がり、また以前のようにになってしまうのかと心配している。少しずつ戻ってきた団体予約もすべてキャンセルになっている。
	×	その他サービス [貸切バス] (経営者)	販売量の動き	・ 新型コロナウイルスオミクロン株によって、更に感染が拡大したため、全ての仕事がキャンセルになっている。
	×	その他サービス [クリーニング] (経営者)	来客数の動き	・ 当地は観光地のため、新型コロナウイルスの感染拡大で全体的に疲弊している。
企業 動向 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	*	*	*
	□	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・ 新型コロナウイルスの新規感染者数が落ちてきたと思っていたら、新型コロナウイルスオミクロン株が出てきて、今後の動向が見えない。
	□	窯業・土石製品製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・ 引き続き、新型コロナウイルスの影響が過大で、商材受注やワークショップの予約等も低迷している。
	□	金融業 (経営企画担当)	取引先の様子	・ 新型コロナウイルスオミクロン株の感染が日本各地で広がってきており、緊急事態宣言のような経済を止めるまでの動きはないものの、景気自体は停滞若しくはやや悪い方向に向かっている。
	□	新聞販売店 [広告] (総務担当)	受注量や販売量の動き	・ 新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、少し動きが鈍ってきている感じはするものの、まだ数字には表れてきていない。
	▲	電気機械器具製造業 (経営者)	それ以外	・ 受注案件はあるものの、電子部品の入荷遅れによって納期が先送りとなっている物が多々ある。
	▲	建設業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・ 資材価格の高騰や納入の不安定化、また、冬期という季節的な要因もあり、やや悪くなっている。
	▲	金融業 (調査担当)	取引先の様子	・ 製造業は、生産用機械や電子部品デバイスが好調な一方、原材料価格の上昇で景況感はやや悪化している。非製造業は、新型コロナウイルスの感染再拡大で、観光関連を中心に景況感が悪化している。
	×	食料品製造業 (製造担当)	それ以外	・ 原材料価格が再び高騰してきている。また、その他資材価格も次から次へと値上げ要請が始まり、それを受け入れているが、当社も値上げしなくてはいけない状況になりつつある。
	×	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・ やっと出荷が上向きに転じた途端に、新型コロナウイルスオミクロン株が急拡大したために、酒販店及び業務店からの受注が急激に落ち込んでいる。また、工場見学者も激減している。
×	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・ 正月明け、新型コロナウイルスオミクロン株の感染者が増えてきたが、12～15日に行われた大型展示会は来場者も前年の倍という活況であった。前年暮れの売上が好調で、在庫も減少したことから、今春の商戦へ向けて、新作を求める客でにぎわった。展示会売上は前年比200%で、今月の売上も前年を30%ほど上回っている。	
雇用 関連 (甲信越)	◎	—	—	—
	○	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・ 人が増えてきている。
	□	人材派遣会社 (営業担当)	雇用形態の様子	・ 給与条件は変わらないものの、スキル等のハードルが上がっているため、折り合わないケースが多い。企業も求職者も互いにハードルを下げないと、採用には至らないと思う。
	▲	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・ 12月まで回復基調にあった飲食店、美術館、スーパー銭湯等のサービス業にヒアリングしたところ、1月に入って新型コロナウイルスオミクロン株の感染が急拡大し始めてから、急激に客足が落ちてきたとの回答が寄せられている。
	×	—	—	—